

## 日本数学教育学会誌『算数教育』・『数学教育』原稿執筆要領

この「原稿執筆要領」は、質が高く読みやすい学会誌を発行することを目的として作成されたもので、原稿を書く際には、この「原稿執筆要領」と最新の本学会誌を参考にすること。

- 1. 原稿の書式** 原稿はA4判の縦置き横書きとし、22字42行の2段組とする。
- 2. 題目の字数** 題目は40字以内とする。副題がある場合、副題は30字以内とする。
- 3. 要約** 要約は440字(44字10行)以内とし、研究の目的、方法、及び、主な結果が分かるように簡潔に明瞭にまとめる。
- 4. キーワード** キーワードは6つ以内とし、その研究の特徴を最もよく示す算数・数学の内容、学習・指導の内容、研究方法などを表す単語とする。
- 5. 文体** 文体は「である」調とし、常用漢字ならびに現代仮名遣いを用いる。外国語を用いる場合は、原語の後に括弧( )をつけて日本語訳を付す。
- 6. 見出し番号の付け方** 章、節、項、等には、見出し番号と標題を付す。見出しの番号は次の順とする。  
章の見出し番号 1, 2, …, 節の見出し番号 (1), (2), …, 項の見出し番号 ①, ②, …
- 7. 表・図の番号** 表及び図には、表1, 表2…、図1, 図2…のように通し番号をつけ、標題を付す。表の通し番号と標題は表の上側に、図の通し番号と標題は図の下側に付す。
- 8. 引用・参考の仕方** ある文章を引用する場合には、引用部分を括弧「」で囲み、その後に、括弧( )をつけて著者名と発行年、引用ページを付す。あることを参考にする場合には、参考部分の後に、括弧( )を用いて著者名と発行年を付す。  
例:[引用]「…である」(川田, 1999, pp.30-31). [参考]…であった(山田, 2000).
- 9. 引用・参考文献の記載内容** 引用・参考文献は、論文の末尾に「引用・参考文献」としてまとめる。  
単行本の場合(単著):  
著者名. 出版年(西暦). 書名. 出版社.  
単行本の場合(分担執筆):  
著者名. 出版年(西暦). 「章の標題」. 編集者名. 書名. 出版社. 始ページ ~ 終ページ.  
学会誌や雑誌等の場合:  
著者名. 出版年(西暦). 「論文名」. 学会誌名. 巻・号. 始ページ ~ 終ページ.
- 10. 引用・参考文献の記載順序** 引用・参考文献の記載の順序は、著者の姓の英文標記に基づいてアルファベット順とする。
- 11. 表・図等の扱い** 表・図・写真・授業記録・指導案等の画像データは、B5版に縮小印刷しても内容の読み取れる大きさで、かつ、鮮明なものを用いる。

**付記** : この原稿執筆要領は平成 27 年 3 月 10 日より施行する。